

日頃の青年部活動に熱弁

平成21年度県青連 主張発表県大会・九州大会

「若い経営者の主張発表県大会」が、9月12日午後、八重瀬町中央公民館で開催され、各支部の代表が県代表を目指し弁を競い合った。出場者は表の通り。

豊見城市商工会青年部	(南部支部)	大田正樹
うるま市商工会青年部	(中部支部)	島袋 桂
金武町商工会青年部	(北部支部)	金城 忍
宮古島市伊良部商工会青年部	(先島支部)	久貝博義

審査の結果、南部支部代表の大田正樹君(豊見城市)が、10月7日大分県で開催される九州大会に派遣者として決まった。

大田正樹君は豊見城市の「ハーリー由来まつり」へ青年部として関わったことをテーマに、文化・観光振興への取り組みから、小中学生の人材育成などに繋げていったことなど、青年部活動が将来のまちづくりに大きく寄与していることを発表、九州大会

での結果は惜しくも優秀賞だったが、来年沖縄で開催される予定の九州大会に向けて、最優秀賞を目指す本県参加者の意識を高める機会となったようだ。



九州大会で発表をする大田正樹君
(豊見城市商工会青年部)



来年の九州大会開催地(沖縄)をPRする高里会長

商工会女性部員研修会 (全国大会 in いわて)

商工会女性部員全国大会が平成21年9月17日、岩手県盛岡市民会館で開催された。大会では主張発表の場があり全国から選抜された代表が発表を競いあった。参加者はそれぞれの熱弁に耳を傾けていた。その中から「皆既日食を観光の目玉として女性部活動に取り組んだ」九州地区ブロック代表・鹿児島県喜界町商工会女性部の豊島代子さんが最優秀賞に輝いた。



最優秀受賞者の豊島代子さん



女性部全国大会模様